# スタッフ紹介

vol.4年報/2009.09.01発行

医療をベースに広い分野で地域の母子社会に貢献する集団を目指す我々には、本年報9ページに示すように様々な職種とそれに従事するスタッフがいます。ありがたくも当院が、皆様の指示をいただいていますのは、決して医師や医療行為や設備だけによるのではなく、それよりも自分の役割（職種）に誇りと喜びをもって己の役割を果たしているスタッフが多数いるからだと考えています。当院には、個性豊かで、皆様と医療を通じてつながりを持つことを何よりも大切に考える優秀なスタッフが多数います。
「当院はスタッフから成り立ち、スタッフあっての当院と思っています。」

そこで今号からは当院のスタッフをより知って
いただくためのスタッフ自身による自己紹介のページを設けました。
ここでは本院の医療・事務スタッフの紹介です。厨房、分院スタッフ、ヨーガ・エアロビクス部門
コンサート部門、保育部門は後の各ページで、各部門を構成する豊かな個性や
熱い情熱を少しでも感じていただければ幸いです。

今のクリニックになって5月で5年目に入りました。振り返ってみると早かったような長かったような感じです。最初の頃は新しい場所や今までとちがったやり方にとまどったり、ドキドキしたり…色々あったけどスタッフ同志お互い心支えあったり、また旧知の患者さんや新たに来て頂いた方から声をかけて頂いたり、励まして頂いたりで今日まで来れたんだなあと思います。開院の際は準備に、開院後も慣れるまではバタバタと忙しいなりに充実した日々だったように思います。最近は忙しさは増しているように思うのですが、その分スタッフも増え私自身は楽をしているのか年々太ってきて最近では"太りましたね"としょっちゅう言われます。当時の写真をみてもびっくりで5年ですごく変わるんだと自分でも驚いています。以前は割と入院中の方でも、外来の方でも結構ゆっくりお話をすることができたのですが、業務が少し変わったからか建物の広さが変わったからなのか、ゆっくりと接することができないのが淋しいです。また以前のように少しゆっくりとお話しすることができて、なおかつ以前のように少し体重が減れば嬉しいなあと思っている今日この頃です。顔見知りの方、また声をかけて下さいね。　助産師　東野純子

患者様の笑顔がみれる事を
励みに日々頑張っています。
助産師　小松美加

病院の近くに住んでいます。
小2、年中の子供の子育て中です。
何でも気軽に聞いて下さいね。
看護師　齊藤敦子

夜勤メインで頑張っています。
最近のマイブーム、筋トレ。
助産師　上野出穂

新しい家族を向かえる一コマに
立ち会い出来る事をうれしく思って
日々仕事をしています。
助産師　尾野桂子

お母さんと赤ちゃんにとって
楽しい育児になるようお手伝い
したいと思っています。
看護師　柳原純子

こんにちは、看護師の藤本です。外来と手術を担当しています。以前は主に外科系の病棟で働いていました。産婦人科外来はちょっといたかな?という程度でしたが、自分の通った道通る道なので重ねて考えられ、毎日すごく勉強になります。ここへ来て4年経つのですが、2人目3人目で…と小さいお子さんを連れている姿を外来で見かけると、とてもうれしいです。「えーもう○年経つの?」と自分でも年を取るわけかぁ～と思いながら。外来の午前診よく混みます。予約制を導入してから、待ち時間は少なくなったのですが、未だに1時間遅れることもよくあり、皆さんにご迷惑をおかけしています。どうしても、夜間や診察時間中のお産があると、先生達はヨレヨレになりがち。そこは私たちスタッフがピシッとフォローしながら頑張っていますので、懲りずに来て下さいね。これからもよろしくお願いします。　看護師　藤本多恵子

# スタッフ紹介

vol.4年報/2009.09.01発行

開院時より勤務しています。
忙しい毎日のため体力的にも
年令的にもきついこともありますが
患者さんや赤ちゃんにいやされて
がんばりたいと思います。
旅行や飲み会で息抜きしています。
看護師　新地茂美

今年の10月で勤続4年目になります。主に外来で働くことが多いですが病棟や手術に入ることもあります。外来では患者様がいろいろな事を相談しやすいような雰囲気を心がけていきたいと思います。また病棟では個々のニーズに合わせた援助ができるようにしていきたいと思います。　看護師　江口成愛

私は、主に外来と手術を担当している看護師です。私の場合、立ち会う出産場面は経膣出産よりも帝王切開の方が多いかもしれません。当院には、多くの妊婦さんが来院されていますが、その中には妊娠中に手術を必要とする方や出産時に帝王切開される方がいます。また多くの婦人科疾患（子宮筋腫や卵巣のう腫など）に関する悩みで来院される方もいて、手術による治療を受ける方がいます。外来では、そういった手術に関してひとつでも多くの不安や悩みを軽減できる様に関わっていきたいと思っています。また入院後も安心して安全に手術前～中～後が経過する様、主治医や麻酔科医師をはじめとする全ての医療スタッフと協力して環境づくりをしていきたいと思います。　看護師　土井祐子

明るいだけが、
とりえです。
元気の源は
みんなの笑顔と
・・・虎!?
看護師　勝田典子

当院でお産して良かったと笑顔でお母さんが退院できるよう、サポートしていきたいと思っています。
いつでも声をかけて下さいね。
助産師　立岡由佳子

楽しく、妊娠･出産、そして子育てを
スタートできたらいいな。と日々考えています。
いつでもお気軽に声をかけて下さい。
助産師　小林未季

箕面レディースクリニックに看護師として勤務して約4年と3ヶ月になります。まずは自己紹介します。家族は4人で夫と2人の息子（中1と小4）がいます。箕面に住んでいて自転車で通勤しています。このクリニックで勤務していると世間でいう少子化対策…は、どこ吹く風やら毎日毎日が忙しく充実した日々であります。院長、副院長、事務長のビジョンに感銘し一人の患者さんを大切にし、患者さんの為、地域の為、そして私のまわりの人が皆幸せであります様に、その忙しさにも負けず力いっぱい働かせて頂いています。女性にとって仕事と家庭の両立は、なかなか難しいですが夫の協力もあり夜勤もしています。これからも箕面レディースクリニックの為患者さんの為に看護師として自分らしく私の好きな言葉「桜梅桃季」のごとく、自分らしく自分らしさを輝かせながら働いていきたいと思います。　看護師　高橋さとみ

**ー患者さんとのかかわりについてー**

患者さんと一番密にかかわる機会は、分娩介助の時だと私は思っています。分娩介助するにあたって、マタニティカードより患者さんの情報を得てそれから、患者さんのニーズを知り患者さんとかかわりを持ってゆき、長い陣痛に患者さんにのりきってもらうために、一緒に呼吸法をしたり、痛い部分をマッサージしてあげたりする事は、とてもたいへんですが、患者さんと一番この時間が一体感を感じる時間です。このかかわりが長いと長いだけ、赤ちゃんを取り上げた時に患者さんと共に喜びも増します。また、その患者さんが妊娠中から健診で会ったり母親学級で会ったりしてかかわりの多い人であれば、もっとその喜びも大きくなります。患者さんとのかかわりは、密になる程より良いお産へとつながると私は思っています。これからも患者さんとのほんの一瞬でのかかわりも大切にし、日々がんばって行きたいです。　助産師　一階みゆき

# スタッフ紹介

vol.4年報/2009.09.01発行

## ―大切にしたいこと―　　師長　竹元由美

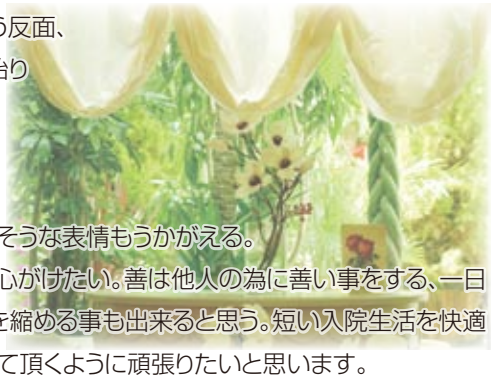
今回は、助産師外来を通して大切にしたいと思っていることにふれてみたいと思います。
いつの時代でも、どんな場面でも、人と人のつながりは断ち切る事はできません。当然のことながら、人はひとりでは生きていけません。それは、絶対に助けを必要とする幼子だけではありません。いくつになっても、人とふれあっていたい、身近にぬくもりを感じていたいと願うのは、性別·年齢に関係なくどの人にも共通するものだと思っています、妊娠中や産後は、特に気持ちが不安定です、理由もなく不安になったり、涙が出たり、おこりっぽくなったり、後になってみれば笑い話でも、その時はとてもつらいですよね。少しでも、その時にその人の気持ちに寄り添うことを大切にしたいと、思っています。時には、厳しいアドバイスをするかもしれません。時にはちょっと心がフワッとほぐれるかもしれません。その人らしい妊娠中を過ごし、その人らしいお産ができて、その人らしい子育てができるように、そのためのお手伝いができればと日々願っています。時代によって子育てなど世間の常識は、多様であり変化するものです。個人によっても常識は様々だと思っています。でも、根底にある大切にしたいもの相手を理解しようとする気持ちは、今も昔もそう大きく変化するものではないと思うのです。偉そうなことを書いてきましたが、これは、長年、助産師として多くの妊産婦さんやその家族の方々から学ばせていただいたからこそ感じていることです。これからも私たちが学ぶことは多くあることでしょう。共有する時間の中で、それぞれの立場で、共に成長していけたらとてもうれしいことだと思います。身近な存在として、ここにいることを思い出していただけたら幸いです。

私は、ここに来て1年になりました。
看護師さんの働きを見てとても素敵だと感じました。
いつか自分も看護師になりたいと思い
今、勉強を頑張っています。
看護助手　竹森かなめ(当院最年少です!)

受付のウグイス嬢(?)こと松本と申します。
ハスキーボイスですが酒やけではありません(笑)
お一人お一人に心をつくした応対をめざして
日々頑張ります。　事務部　松本教子

患者様にとって
快適な入院生活が送れるように
少しでもお役に立てればと思います。
看護助手　福長真理

## ―1日の中で―　　看護助手　林和子



ある日の一日が始まった。クリニックに着くと朝からの手術、何があったのかと思う反面、
私には先にやるべき事がある。手術室を横目に看護師さん達の白衣の洗濯から始り
ポットのお湯の交換や赤ちゃんの哺乳瓶を配る事、病室に入ると昨日とは違う
患者さんの顔、誰が入ってきたの?という不安そうな表情は見て取れる。
「おはようございます」と声をかけると警戒心も和らぎ表情も変わる。
出産という大きな仕事を成し遂げた達成感さえ感じられ、我が子との対面に満足そうな表情もうかがえる。
看護助手としては直接的なかかわりは少ないにしても、その中で私は一日一善を心がけたい。善は他人の為に善い事をする、一日にひとつ行動に移す事、それは私も幸福な時間を過ごせるし、患者さんとの距離を縮める事も出来ると思う。短い入院生活を快適に過ごして頂きたい思いと、一年後、二年後にも心に残るサポートだったと評価して頂くように頑張りたいと思います。

本院と分院、合わせて9人の事務員が勤務しております。最初に**〈こんにちは〉**笑顔で、お迎え出来ておりますでしょうか。医師や看護師の補佐となるよう、時々落ちる雷にもめげず、嵐の日は通り過ぎるのをひたすら待ち、診療が遅れた時などは、患者様からの視線にも、ちょっと恐怖を感じながらも**〈お大事に〉**の気持ちを込めて丁寧な応対を心がけております。多様な保険制度や市町村単位の健診票、産科補償制度など、複雑化する医療を患者様にご説明出来るよう勉強していきますので、不明な点がございましたら、ご質問ください。(即答は無理かも!?)
当院からの帰り道、事故などないよう、くれぐれも**〈お気をつけて〉**　　事務部　山本さゆり